

ブイゲットパディート粒剤

[シアントラニリプロール・チアジニル粒剤]

農林水産省登録	第23666号
有効成分	シアントラニリプロール… 0.75% チアジニル…12.0%
性状	類白色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：5年 包装：1kg×12、10kg×1 RACコード：殺虫[28]殺菌[P3]

特長

- 育苗箱処理でいもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、および水稻主要害虫を同時防除できる。
- ブイゲットは稲をいもち病、細菌病にかかり難くする作用性（病害防除機能の増強）を有し、安定した効果を示す。また、耐性菌出現リスクが低く、既存剤の耐性菌にも有効である。
- パディートはニカメイチュウのようなチョウ目害虫に対して、高い効果と優れた効果持続性を発揮する。また、イナゴ類や既存剤に対して抵抗性の発達したイネミズゾウムシやイネドロオイムシに対しても高い防除効果を発揮する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用する。
- 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきはいねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意する。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ コブノメイガ イナゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	本剤の所定量を 育苗箱の上から 均一に散布す る。	1回	3回以内(移植時ま での処理は1回以 内、本田での散布 は2回以内)
		高密度には種する場 合は1kg/10a (育苗 箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当 り50～100g)					
イネツトムシ ヒメトビウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前～ 移植当日					
	高密度には種する場 合は1kg/10a (育苗 箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当 り50～100g)						
稲	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	1kg/10a	移植時	側条施用	3回以内 (直播での種時 又は移植時までの 処理は1回以内、本 田での散布は2回以 内)		
直播水稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ		は種時	は種同時施薬機 を用いて土中施 用する。	3回以内(は種時ま での処理は1回以 内、本田での散布 は2回以内)		

製品写真



最新の登録内容はこちら

